



決算の内容が分かりにくい・・・

月収30万円の「大野さん」の家計簿で例えてみましょう。



## 大野さんちの令和6年度決算

大野市の令和6年度一般会計決算（歳入約248億円、歳出約239億円）を、月収30万円（年収360万円）の「大野さん」の家庭に例えて家計簿を作りました。

なお、参考として記載した前年度（令和5年度：歳入約223億円、歳出約214億円）の金額は、令和6年度の決算額を月収30万円とした場合に、いくらになるかを計算して比較しています。

### ○大野さんちの1ヶ月あたりの収入

項目	金額（円）	前年度（参考）	
給料	↑ 60,400	56,700	（市税、使用料、寄附金など）
親からの援助	↑ 175,100	164,300	（地方交付税、国県補助金など）
貯金の引出し	↓ 13,900	21,500	（基金繰入金など）
借金	↑ 39,100	17,100	（市債）
前月からの繰越金	↑ 11,400	9,700	（繰越金）
合計	↑ 300,000	269,300	

### 主な増減理由

- 親の指示により定額減税（市民税を1人1万円減額）を行ったため、給料のうち市民税が大きく減りましたが、ふるさと納税寄附金など他の収入が増えたため給料全体としては増えました。この市民税が減った分については、親からの援助で補填されています。
- 大雪や物価高騰で支出が増えたことに対し、親からの援助を増やしてもらえました。
- 小中学校改修などの臨時的な大きな事業を実施したことに伴い、借金が増えました。

安定した財政運営のためには給料を増やす必要がありますので、地域経済の活性化による税収増加、使用料などの適正化、施設の有効活用や売却などに努めなければなりません。また、ふるさと納税の寄附金額が増えていますが、今後もさらなる取組みが求められます。

一方、小中学校の改修などのため借金が増えていますが、将来の財政を圧迫しないよう金利の動向も踏まえた計画的な借入れが必要です。

かめじろの  
財政診断



## ○大野さんちの1ヶ月あたりの支出

項目	金額(円)	前年度(参考)	
食費	↑ 42,100	40,300	(人件費)
医療費など	↑ 44,700	41,600	(扶助費)
日用品・光熱水費	↑ 38,100	36,800	(物件費)
家や家具の修理代など	↑ 15,500	6,600	(維持補修費)
子への仕送り	↑ 61,000	47,000	(繰出金、補助費等など)
借金の返済	↓ 15,700	16,100	(公債費)
家の増改築など	↑ 53,100	46,000	(普通建設事業、災害復旧費)
貯金	↓ 18,900	23,500	(積立金)
合計	↑ 289,100	258,000	

### 主な増減理由

- 大雪の影響で、除雪経費が含まれている「家や家具の修理代など」が増えました。
- 広域ごみ処理施設基幹的改良工事に係る負担金を支払ったため「子への仕送り」が増えました。  
(大野市と勝山市でビュークリーンおくえつに仕送りをしています。)
- 小中学校の改修や防災行政無線の整備などの実施より「家の増改築など」が増えました。

過去10年間程度の傾向を見ると、医療費など(扶助費)、日用品・光熱水費(物件費)、子への仕送り(繰出金、補助費等)が増加傾向にあります。令和6年度は、主な増減理由にあるように臨時的な要因により大きく増加した項目もありましたが、物価上昇などにより経常的な経費も増加傾向にあるため、経費節減はもちろんのこと、費用対効果を検証した事業内容の見直しや、公共施設等の適正配置などの対策が求められます。

かめじろうの  
財政診断



## ○大野さんちの借金と貯金

(令和6年度決算額を年収360万円とした場合)

項目	金額(円)	前年度(参考)
借金	↑ 2,056,500	1,770,600
貯金	↑ 1,076,000	1,014,300

※令和6年度末時点の一般会計の現在高